

2017年5月22日
Peach Aviation 株式会社

ビットコインを活用した直接決済サービスを導入へ ～インバウンド需要を加速させ、地方創生へ貢献～

- ・ 本邦航空会社で初めての取り組み
- ・ ビットコインを用いた航空券などの直接決済サービスを開始
- ・ 自治体や地元企業と連携しながらサービスを拡大

Peach Aviation 株式会社(以下:Peach、代表取締役 CEO:井上 慎一、本社:大阪府)は、本日、株式会社ビットポイントジャパン(以下:ビットポイントジャパン、代表取締役:小田 玄紀、本社:東京都)と仮想通貨「ビットコイン」を活用した直接決済サービスを2017年12月末までに導入することを発表しました。ビットコインを用いた直接決済サービスの導入は、本邦航空会社で初めての試みとなります。



ビットコインは、中国をはじめとするアジアで急速に普及している仮想通貨です。また、日本においても、今年4月に改正資金決済法が施行されて以降、ビットコインでの決済が可能な加盟店が増加し、その利便性が拡大しています。

代表取締役CEOの井上慎一は「ビットポイントジャパンさんとPeachが手を組むことにより、ビットコインがより身近なものになることを期待しています。今後、北海道や東北、沖縄などをモデル地区とし、自治体や地元企業などとも連携しながらビットコインで購買のできる加盟店を増やし、首都圏や関西へ来られたアジアのお客様が地方を巡る仕掛けを築き、地方創生を促進させることを目指します」とコメントしています。

今後もPeachでは、航空業界の枠にとらわれないイノベーティブな取り組みを展開し、新たな旅のスタイルを創造してまいります。

ビットポイントジャパンについて(<https://www.bitpoint.co.jp>)

ビットポイントジャパンは、東証上場企業である株式会社リミックスポイント(証券コード:3825)の子会社として2016年3月に設立されて以来、ビットコイン等の仮想通貨取引サービス、その他 FinTech 関連事業を行っております。「安心・安全な取引の実現」をモットーに、厳格な管理体制のもと、お客様に対するサポートを充実したサービスを展開しております。仮想通貨が「使う・送る・投資する」手段としてより普及するように、今後もサービスの拡充・強化、品質向上を図ってまいります。

Peach について(www.flypeach.com)

Peach は、2012年3月に関西空港を拠点として運航を開始しました。2014年7月には那覇空港を関西空港に次ぐ拠点空港とし、2015年8月には羽田空港に就航しました。現在、18機の機材で、国内線12路線、国際線13路線に就航し1日あたり90便以上を運航するとともに、13,000人以上のお客様にご利用いただいております。また、2017年9月には、仙台空港、2018年度には新千歳空港を拠点空港とする予定です。